

令和 5 年 9 月 15 日

紀美野町長 小川 裕康 様

紀美野町道の駅検討委員会
委員長 藤田 武弘

道の駅検討結果について（答申）

令和 3 年 7 月 21 日付紀企第 399 号により諮問のあった道の駅検討について、慎重に検討を重ねた結果を答申します。

道の駅整備にあたっては、下記の事項に十分配慮され、道の駅を拠点に地域内外の交流を促進することで、コミュニティが拡充し、また経済的な潤いをもたらす、「人と人との笑顔をつなぐ道の駅」の実現に向けて取り組まれるよう要請します。

具体的には、下記のとおり、①地域住民が道の駅に寄せる 5 つの期待に応えるため、② 3 つのコンセプト（備えるべき機能・役割）を道の駅に備えていただきたい。

記

① 地域住民が道の駅に寄せる 5 つの期待

その 1 ふるさと学習の充実による「戻りたくなる」人づくり

若者が進学や就職で紀美野町を離れたとしても、また戻ってきたくなくなるような地元愛あふれる人づくりを担うことが道の駅に期待される。ふるさと学習は、地元愛をはぐくむだけでなく、地域の文化や伝統を若い人に伝えて残す役割も期待される。

その 2 地域内外の世代が異なる人が出会える「場」の創出

地域住民が気軽に訪れることができ、住民同士の交流の場となること、多種多様な世代が交流することで、子育て世代の悩み解決や高齢者の生きがいづくりの場となること、地域の観光情報の発信や移住定住の促進により地域住民と外の人をつなぐ場となることが道の駅には期待される。

その3 交流・コミュニティの拡充による防災力の向上

道の駅を避難所として活用することに加え、道の駅における活動をとおした交流・コミュニティの拡充によって、共助の取組を促進し、地域の防災力を向上させることが期待される。

その4 生活の困りごと解決

紀美野町で生活するうえで、買い物できるところが少ない、交通が不便である、医療施設まで遠い、子どもが遊べる公園が少ないなど様々な困りごとがある。これら生活での困りごとを解決することが道の駅には期待される。

その5 6次産業化による農業活用と雇用創出

観光客を呼び込むことによる経済的潤い、まちの賑わいづくりが期待される。特に、道の駅を拠点とした6次産業化に取り組むことによる農家の活躍や若者が町内で安定して働くことができる場の確保が期待される。

以上の5つの期待を受けて、設置される道の駅が備えるべき機能・役割を3つのコンセプトに整理した。

② 道の駅のコンセプト（備えるべき機能・役割）

その1 多種多様なコミュニティの拡充

ふるさと学習の充実（期待その1）、地域内外の方の交流促進（期待その2）、災害時の共助促進（期待その3）を叶えるため、多種多様なコミュニティを拡充する機能が道の駅には必要である。研修会議室や図書館などコミュニティスペースを設けて、ふるさと学習や交流の場としていただきたい。

その2 ワンストップ窓口の開設

観光客や移住希望者を地域につなぐこと（期待その2）、防災力向上に向けた移住希望者受入れ（期待その3）、生活の困りごと相談（期待その4）のため、道の駅にはワンストップ窓口の開設が求められる。観光の総合窓口設置による、体験予約受付や積極的な情報発信の実施、移住相談窓口の設置による移住定住の促進、生活・福祉等の総合相談窓口の設置による生活の困りごと解決の機能を備えていただきたい。

その3 食と自然を感じる着地型観光の提供

農業活性化と関連雇用の創出（期待その5）には、地域資源を活かした“モノ売りからコト売りへ”の発想の転換が必要である。例えば、地元こだわりの食材を使ったカフェ・レストラン、加工品の開発・販売所、農産品の直売所、農や自然を生かした体験の場を道の駅に設けていただきたい。また、災害時における生活物資供給（期待その3）、日常の買い物（期待その4）にも対応するため、物販所では、生鮮食品や日用品も取り扱うことが必要である。

以上、3つのコンセプトを道の駅に備えるにあたっては、関係人口の創出と地域資源の活用が重要と考える。これらは、紀美野町内の様々な組織においても、達成すべき共通の目的となっていることから、道の駅と町内組織が密に連携を図っていただきたい。

以上

人と人の笑顔をつなぐ道の駅

コンセプトイメージ図

付帯資料

1

【道の駅】

道の駅への期待

期待その2

地域内外の世代が異なる人が
出会える「場」の創出

期待その4

生活の困りごと解決
(買い物・医療など)

期待その1

ふるさと学習の充実による
「戻りたくなる」人づくり

期待その3

交流・コミュニティ拡充
による防災力の向上

期待その5

6次産業化による
農業活用と雇用創出

コンセプトその1

多種多様なコミュニティの拡充
(研修会議室、図書館)

コンセプトその2

ワンストップ窓口の開設
(観光・移住など)

コンセプトその3

食と自然を感じる
着地型観光の提供
(地元こだわりの食材・体験)

道の駅の
機能・役割
コンセプト

2

連携

関係人口
の創出

共通ミッション

地域資源
の活用

連携

きみの地域
づくり学校

定住を支援
する会

まちづくり
協議会

観光協会

商工会

加工グループ

農協

町内組織